

認知症について 知りたくなったら

📖 認知症関連図書推薦リスト 📖

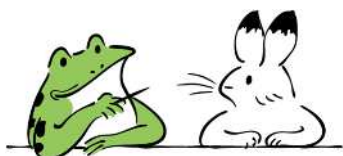


たくさんの関連本が出版される中、図書館員が実際に読んでおすすめする本のリストです。

高齢者に限らず、年齢に関係なく発症の可能性がある“認知症”。正しく理解し、予防や介護のことなど、自分や家族が認知症になっても住み慣れた街でいきいきと暮らすために役立つ本を紹介します。

西宮市産業文化局生涯学習部

読書振興課





認知症について知る

誰もが発症する可能性のある認知症。関連する本を読み、正しい情報を得て、理解を深める一歩にしませんか。



『お母さんは、だいじょうぶ』

楠章子／文 ながおかえつこ／まんが 毎日新聞出版 2019年

読書感想文の課題図書にもなった『ばあばは、だいじょうぶ』の作者が書いた本です。実母の介護のなかで大変だったことも、ほっこりとした文章と4コマまんがにまとめられています。



『老老介護の幸せ』

松島トモ子／著 飛鳥新社 2019年

著者は3歳の頃から子役として活躍していたため、お湯も沸かしたことがないほど。そのような生活から突然母親を介護することに。「レビー小体型認知症」の診断を受けるまでがとても大変だったそうです。

『認知症の取扱説明書』

平松類／著 内野勝行／監修 SBクリエイティブ 2018年

『ボクはやっと認知症のことがわかった』

長谷川和夫／著 猪熊律子／著 KADOKAWA 2019年





介護することになった！

家族が認知症になったら…介護するために知っておきたい情報、不安やストレスを軽減する工夫やヒントがいろいろあります。



『無理なくできる親の介護』

工藤広伸／著 日本実業出版社 2018年

介護はある日突然始まります。相談する人もなく家族のことだからと、自分一人で抱えてしまう人もいるかもしれません。ムリのない介護を実現するために、制度や人を頼る方法がまとめられています。

『できることを取り戻す魔法の介護』

長谷工シニアホールディングスにやりほっと探検隊／著 ポプラ社 2017年

『認知症の人と家族のための「地元で暮らす」ガイドブック Q&A』

新里和弘／監修 Dカフェnet／著 メディカ出版 2018年

『気持ちが楽になる認知症の家族との暮らし方』

繁田雅弘／監修 池田書店 2018年

『認知症の親へのイラツとする気持ちがスーッと消える本』

榎本睦郎／著 永岡書店 2019年

『お父さんは認知症』

田中亜紀子／著 中央公論新社 2020



児童向け



認知症ってなあに？

『ラブリーオールドライオン』



ジュリア・ジャーマン／さく スーザン・バーレイ／え
こだまともこ／やく フレーベル館 2015年

やさしくてかしこい王さまだったおじいちゃん。年をとってしまって、ようすがへん。あたまの中がくたびれて、わすれんぼうになったみたい。でもだいじょうぶ。いつだってそばにいるよ。

『あかりさん、どこへ行くの？』

近藤尚子／作 江頭路子／絵 フレーベル館 2016年



『おばあちゃんが認知症になっちゃった！』(学校の保健室 2)

宇津木聡史／文 河村誠／絵 星の環会 2017年

『マンガ ニンチショウ大使れも参上！』

高橋由為子／作・マンガ 菊地蔵乃介／解説・監修 子どもの未来社 2017年

📖探している本が見つからないときや、探し方が分からないときは職員におたずねください。



発行 2021年4月

西宮市産業文化局生涯学習部

読書振興課

Tel0798-33-0189(中央図書館)